



所管業務:

住宅・大型建築物に係る環境衛生管理及び居住環境に係る福祉の増進に係る ⇒ ①調査研究 + ②自治体衛生部局職員等に対する研修

①調査研究

[分野の研究背景と対象] 超高齢社会、地球温暖化(気候変動)・省エネルギー、都市・建築の高度化複雑化、居住環境要求レベルの向上と多様化、技術の急速発展(多機能化・高度化)、その副作用と格差(世代、地域、個人)、災害(地震・水害、火山)頻発と対応(避難所、仮設、復旧、復興)

⇒ 住宅・建築に係る様々な健康リスク(図1) (シックハウス・シックビル・ダンプビル/ヒートショック、熱中症、真菌、ダニ等の害虫、インフルエンザ等感染症、アレルギー、化学物質過敏症、音・振動、光・・・)

★主な対象

- 1. 建築物衛生法の特定建築物等
2. 住居(WHO欧州支局のHealthy Housingの項目)
3. その他(医療・福祉施設等、被災後の建築・住居の衛生)

☆主な研究活動]

- A) 建築物衛生法の基準・運用等の見あり方(図2)
B) 室内環境改善(寒地等地域性、既存建築、災害対応)(図3)
C) 高齢者の生活環境改善(地域包括ケアシステム等)
D) 省エネルギーの健康リスクへの影響(図4)

②自治体衛生部局職員等に対する研修(図5)

●環境衛生監視指導研修/生活衛生課

生活衛生営業に対する監視・指導業務を適切に実施できるよう、関連法規、衛生管理の課題とその対応技術を習得し、適切な指導助言を行う能力を獲得する。

●建築衛生研修

建築物衛生・環境管理に関する高度な専門知識並びに技術、「建築物衛生」に関する最新の体系的知識や対応技術を習得し、建築物の衛生監視業務に資する深い洞察力を養う。

●住まいと健康研修

住民が健康に住むための技術支援を行うことができるようになるために、「住まいと健康」に関する最新の体系的知識及び対応技術を修得し、住民に対する住環境衛生教育や住宅を含む建築物の環境衛生に関する業務に応用する能力を身につける。

●専門課程 環境保健概論

公衆衛生、保健福祉医療分野におけるリーダーとなるために必要な基礎的知識を習得することを目的とします。

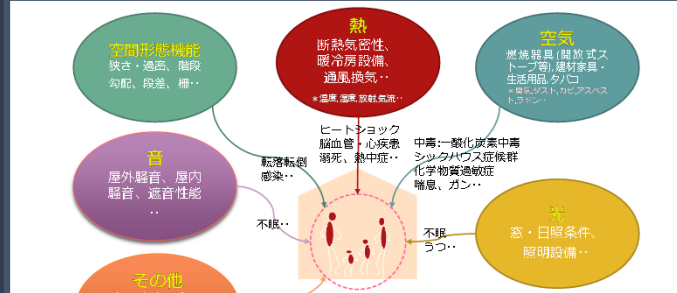


図1 住宅・建築に係る健康リスク

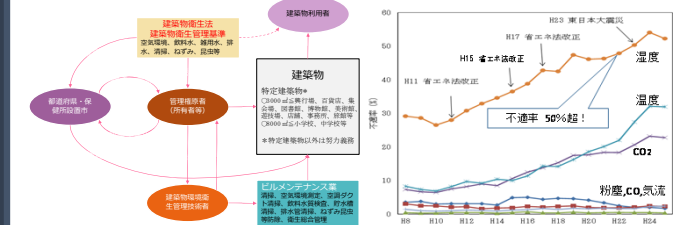


図2 建築物衛生法の仕組みと実施

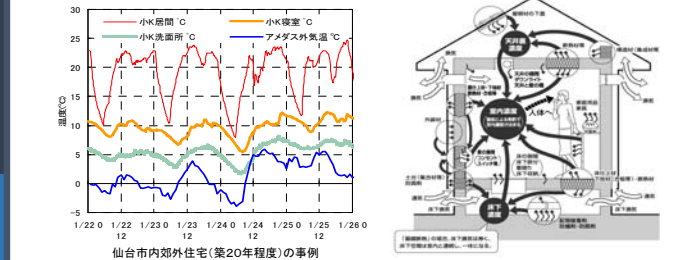


図3 住宅の冬期室内温熱環境とシックハウスのメカニズム

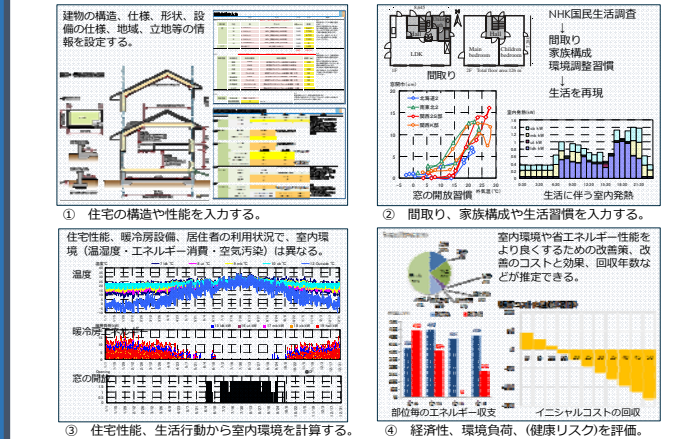


図4 室内環境(生活習慣・温熱空気環境)のシミュレーション

Figure 5: Materials for training (housing and health, environmental health concepts). A collage of various diagrams, charts, and photos related to housing design, indoor environment, and health. Topics include '住宅の機能と設計・施工' (Housing function and design/construction), '住環境デザインの課題' (Issues in housing design), and '高齢者住宅の居住性>室内環境' (Habitability of elderly housing > indoor environment).

図5 研修(住まいと健康・環境保健概論等)の資料例